

一般会計 79億5,448万円

前年度の当初予算と比較して5.8%の増額となりました。歳出では、超高速情報通信網(光)や来島拠点複合施設整備などの大規模事業の開始に伴い、普通建設事業費が昨年に比べて増加しています。これに伴い、歳入では、普通建設事業費の実施のために借り入れる町債(借金)の発行額が増加しています。

歳出の状況

公債費の歳出全体に占める割合は14.5%で、昨年度から1.0%減少しています。本年度も町債の繰上償還を行い、来年度以降の公債費の減少に努めます。普通建設事業費の割合は27.5%で、昨年から4.5%増加しています。定員管理計画に基づいた適切な職員数や事務経費の節減に努め、効率的な事業実施、健全な行財政運営を進めます。繰上償還…当初予定した期限を待たずに町債(借金)を返済すること

特別会計 総額 29億6,247万円

簡易水道事業は、継続して既存施設の維持修繕を行い、佐見地区の営農飲雑用水の整備、中央監視装置の移転整備などを実施します。下水道事業では既存施設の維持修繕、合併処理浄化槽の設置を継続して行います。病院事業では、各種医療機器を更新します。

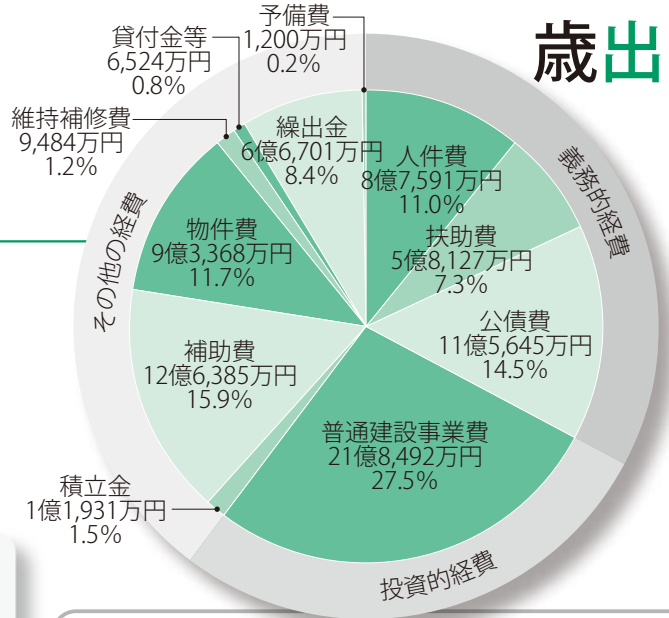
特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険事業	6億6,500万円	6.7%減
後期高齢者医療事業	1億7,262万円	5.6%減
簡易水道事業	4億3,589万円	21.4%減
下水道事業	4億471万円	0.3%減
介護保険サービス事業	3,320万円	2.4%増
病院事業	12億5,105万円	5.7%減

町民1人当たり・1世帯当たり

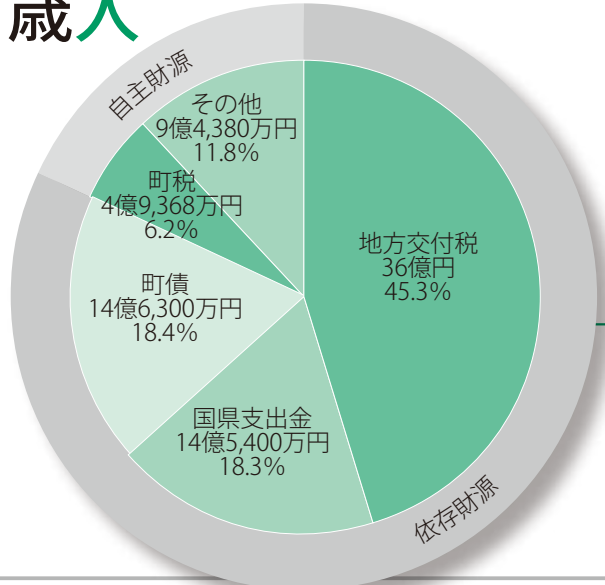
平成30年4月1日現在 人口:4,940人 世帯:2,041戸

●使用する費用	●負担する税金
1人当たり:161万円	1人当たり:10万円
1世帯当たり:390万円	1世帯当たり:24万円

平成30年度 予算の概要 歳出



一般会計・特別会計合わせて 109億1,695万円 [前年度比1.7%増] 歳入



平成30年度一般会計当初予算は、収入の確保が極めて厳しい状況で、平成21年度以来9年ぶりとなる財政調整基金の2千万円の取り崩しのほか、減債基金を8千万円取り崩す予算としています。(基金＝貯金) 平成30年度末の実質公債費比率は11.6%となる見込みで、18%を超えず健全な財政運営を保てる見込みですが、歳入の約半分を占める普通交付税の減少にも対応できるように、一層の財政の健全化に努めます。

歳入の状況

歳入全体に占める地方交付税や国県支出金、町債などの依存財源の割合は82.0%で、歳入の大部分を依存財源に頼る状況となっています。町債(借金)については、昨年度と比較して約5億4千万円増加(昨年の約1.6倍)しています。歳入の大部分を占める普通交付税は、町合併に伴う加算分が段階的に縮小しており、今後さらに減少していく見込みです。

一般会計予算の主な使い道 ★新規事業

総務関係 20億688万円

CATV事業	6,140万円
国道54号活性化事業	164万円
定住促進対策事業	1億107万円
地域おこし協力隊活動事業	1,499万円
飯南高校への支援	3,368万円
小さな拠点づくり推進事業	888万円
集落支援員活動事業	1,614万円
志津見ダム周辺環境整備	3,319万円
自治振興組織等の活動支援	863万円
森林活用地方創生推進事業★	2,100万円
地域交通対策事業	9,064万円
情報通信基盤整備事業(光ケーブル)	6億6,901万円
携帯電話エリア整備事業(上赤名)★	7,342万円
来島拠点施設整備事業	1億3,565万円
人材確保支援センター運営事業	200万円

商工観光関係 3億1,756万円

創業支援事業	1,736万円
大しめ縄の町ブランド推進事業	439万円
森林セラピー推進事業	489万円
観光協会運営事業	3,860万円
観光交流施設の維持管理	1億7,231万円

民生関係 12億1,357万円

老人ホーム入所措置	1億838万円
障がい者福祉の推進	1億9,507万円
高齢者生活福祉センター屋根改修★	2,410万円
出合い創出事業	562万円
子ども・子育て支援対策事業	441万円
児童手当支給	5,573万円
保育所運営の推進	2億2,925万円
保育士確保対策★	250万円
子ども等医療費助成事業	1,537万円

農林水産業関係 7億2,526万円

農作物鳥獣被害防止事業	1,972万円
園芸振興対策事業	644万円
中山間直接支払事業	1億4,416万円
売れる米づくり事業	275万円
環境保全型農業直接支援対策事業	1,657万円
リースハウス団地整備事業	3,957万円
農産物6次産業化支援事業	1,150万円
多面的機能支払事業	9,487万円
農業次世代人材投資事業	825万円
中山間地域総合整備事業	2,493万円
農道の整備	5,853万円
林道の整備(草峠線)★	2,510万円
農地の整備	2,451万円
国土調査事業	5,112万円
木質バイオマス推進事業	505万円
造林事業の実施	4,187万円

衛生関係 6億9,898万円

医療従事者確保対策事業	1,219万円
感染症予防事業	1,612万円
健康増進事業	3,308万円
子育て支援(乳幼児健診等)	829万円
飯南病院の運営資金	3億2,524万円
ゴミ処理運営経費	1億130万円

土木関係 10億9,946万円

町道除雪対策	7,737万円
橋梁の長寿命化	2,290万円
法面等災害防除事業	1,750万円
トンネル長寿命化★	400万円
町道松本頓原線の整備	7,430万円
町道頓原長谷線の整備	1億80万円
通学路の整備	4,610万円
町道角井境線の整備	5,000万円
町道頓原寺沢花栗線の整備	2,440万円
町道八神千原線の整備	5,120万円
町道駐車場川原線の整備	2,280万円
町道松本酒谷線の整備★	1,500万円
町道リフレッシュ事業	3,150万円
住宅店舗リフォーム等助成事業	180万円
木造住宅耐震診断・改修費助成	172万円
公営住宅建設事業	1億8,960万円

教育関係 3億8,528万円

教育魅力化推進事業★	522万円
学習支援館運営事業	1,604万円
小学校教育の推進	7,594万円
中学校教育の推進	4,464万円
公民館活動の推進	3,532万円
放課後子どもプラン	715万円
学校給食の支援	4,966万円

消防関係 2億7,393万円

消防団活動費等	3,734万円
消防ポンプ積載車整備	1,958万円
防災行政無線施設	6,823万円

議会関係 6,209万円

公債費 11億5,947万円

予備費 1,200万円

★新規事業



次世代を担う若者自らが地域のために頑張っています

世代を超えて 若者スポーツ大会 3/25日

頓原小学校体育館を会場に、若者スポーツ大会が開催され、中学生・高校生・大学生・社会人など約40人がソフトバレーの熱戦を繰り広げました。

主催したのは、平成28年度の飯南高校卒業生(有志が、「飯南町に貢献したい」という思いから立ち上げた団体「from I」。昨年夏には、小学生との交流イベントを企画開催。代表の津和野勇貴さんは「交流の輪をもっと広げていきたい」と話していました。

新産業創出支援 事業募集

新たな産業創出から雇用の拡大を図るため、町内で新産業・新商品の創出をする団体等に対し、事業に必要な経費を補助します。

対象 町内の中小企業、NPO法人、町商工会員など

対象事業 ①雇用創出(ハード事業) 補助率2分の1(上限500万円) 融資による借入2分の1以上が必須条件 ②新商品開発・販路開拓など(ソフト事業) 定額50万円

申込締切 5月31日(木)

選考方法 6月中旬開催予定の審査会で決定

※詳細は、町ホームページまたは左記までお問い合わせください。

問合せ 産業振興課 電話 76・2214